



はじめまして『START』です！

石巻の“これから”と一緒に
盛り上げる学生中心の団体です。

2011年11月、山形大学と東北芸術工科大学の学生が中心となり、東北芸術工科大学非常勤講師や東京プロボノチームの協力を得ながら動きはじめました。活動をしているうちに、ことぶき町商店街でボランティアをしていた青山学院大学ボランティア・ステーションと合流、他大学の学生も有志でSTARTの活動に参加しています。石巻でも様々な方々からご協力をいただき、ことぶき町商店街の方々を中心に多くの方と一緒に活動させていただいています。今後も石巻の”これから”を盛り上げていきますのでよろしくをお願いします！

STARTのこれまでの活動

現在、STARTでは主に二つの活動を行っています。一つは、石巻の魅力や震災当時の様子、復興の状況を、防災の観点を踏まえながら未来に伝えるための[石巻スタディツアー]。もう一つは津波を被り商品価値を失ってしまった反物を用いて復興を応援する[saki-ponプロジェクト]。詳細は中をご覧ください。





石巻スタディツアー

～ 3.11 に学び、未来へ繋ぐ旅～

スタディツアーでつなぐ縁と未来

東日本大震災で甚大な被害を受けた石巻市。復旧から復興へと移行しつつある今、石巻の「これから」と「役割」を考えていく必要があります。ツアーを通し石巻との繋がりや関心を増やすことで、“人”と“お金”そして“縁”がまわる一助となればと活動しています。また、ツアーに“学び”の要素を組み込むことで、防災や地域コミュニティー、社会のあり方などこれからの社会に必要とされる事柄について考える場の創出を目指しています。

1日のツアースケジュール(例)

- 7:00 山形出発
- 9:00 日和山、門脇小学校、石巻漁港などを視察
- 11:10 まち歩き
(石巻まちなか復興マルシェ～ことぶき町商店街～立町大通り商店街)
- 13:00 昼食「いしのみ☆キッチン」
- 14:00 商店街・ボランティアの方のお話
- 14:30 ディスカッション(感想や意見を共有)
- 16:00 終了・解散

これまでご協力いただいた皆さん

ことぶき町商店街、門脇地区 本間英一さん、雄勝硯生産販売同組合 高橋頼雄さん、東松島市立大曲小学校 亀掛川孝雄校長、門脇雅孝教務主任、東部教育事務所 指導班副参事 大内俊吾先生、宮城県石巻好文館高校 小野寺千穂子校長、石巻市立門脇小学校 若生孝行先生、石巻中心市街地の方々、石巻まちなか復興マルシェ、石巻立町復興ふれあい商店街、木の屋石巻水産 木村優哉さん、石巻冷却サービス 阿部美津夫さん、蒲鉾本舗高政、ピースポート災害ボランティアセンター石巻支部、いしのみ☆キッチン(ぐるぐる応援団)、石巻専修大学丸岡泰ゼミ、子ども支援 Facebook プロジェクト、青山学院大学、山形大学、立命館大学、京都造形芸術大学、コンソーシアム山形

より実りあるツアーのために…

ツアー参加者とスタッフで事前に勉強会を行い、石巻や震災に関する知識を得た上でツアーを実施します。当日はバスや徒歩で石巻周辺を巡り、参加者はメディアでは得られない、五感で感じる石巻の魅力や被災状況、防災時の行動の難しさや大切さを体験していきます。

また、地元協力者の方が語り部として参加者と一緒に商店街を巡ります。参加者には街歩きを通して、復興に向け動いている姿や今の街の様子を紹介し、参加者が石巻の方々のたくましさや人柄に触れられる機会をつくります。

そしてツアーの終わりには、参加者どうしで意見の共有を行い、自分と石巻との関係、防災やこれからの東北について考え、未来に繋げていきます。

このようなツアーの内容は参加者に合わせ対応していきます。学校教員対象であれば、石巻の学校を巡り、地元の先生を講師にお呼びするなど、学生や企業対象、防災に特化したツアーなど、参加者にご協力いただく方々と相談しながら丁寧に考えていきます。



9月15日 START×石巻専修大学 防災研修ツアーレポート

『石巻・女川の日帰り防災研修～“その時”を生き抜く心構え～』

- 日時：9月15日(土)
- 対象：東北・関東圏の社会人・学生対象
- 参加人数：16名
- 主な訪問先：大川小学校、雄勝町、女川町、活魚ニューこのり、蒲鉾本舗高政、門脇町、日和山公園など

はじめまして、START スタッフの鳥越です。今回のスタディツアーは、防災研修として石巻専修大学の丸岡ゼミと共同企画し、データや資料からは得られない防災に最も必要な「共に生き抜くための心構え」を学びました。

参加者は教員志望の大学生、関東の小学校教諭、山形県職員、報道関係者など様々な地域や職業、年齢の方々です。それぞれ「被災地に行ったことがない。」「これから学校の先生になるにあたり、災害時にどうしたら子ども達を守れるのか考えたい。」との声があり、震災後初めて石巻を訪れる人が多いように思いました。

当日は大川小学校、雄勝町、女川町立病院、蒲鉾本舗高政・万石の里、門脇小学校、日和山公園を視察し、それぞれの場所で語り部さんや丸岡先生から説明をいただきました。参加者が最も印象に残った場所は大川小学校でした。実際に校庭に入り説明を聞いた参加者は、「(山形で小学校長を務める)自分だったら、適切な指示ができたのか。」と仰っていました。その後、雄勝町では、雄勝硯生産販売協同組合の高橋さんから当時の状況を伺いました。情報の孤立がその後の避難所運営やライフライン復旧に大きな足枷となったそうで、「自然相手に絶対はなく、『ここまで逃げたら安心』ということはない。」と話してくださいました。また、女川町立病院入口では津波浸水高を示す印を、蒲鉾本舗高政・万石の里では津波が来た瞬間のビデオを見せていただきました。最後に門脇小学校から、門脇町在住の本間さんの案内で児童が避難した経路を歩いて日和山へ。どの場所も、被害の大きさや津波の威力を体感し、「自分の街で災害が起きたらどうするか」「自分だったらどう逃げるか」と考えることができました。



↑大川小学校の校庭で話を聞く参加者。窪地の為、校庭からは北上川も海も見えない。」



↑雄勝町の市役所支所の中でお話を伺う。公共施設はほとんど機能していない。

参加者の感想で「現地で見えて感じて考えること、体験から学ぶことの大切さを改めて感じた。」「復旧から復興へ今がとても大切な転換期。何が出来るか何をすべきか考える良い機会となった。」「危機管理の重要性と想像力を働かせたシステムや行動基準の作成を、この災害が風化する前にやっておくべきと強く感じた。」「日頃から防災研修・意識を高める心構えを持っておきたい。」「最善の避難行動をとることの難しさを感じた。」という声がありました。日常では震災が風化してしまい、被災地を訪れようにもどうしたら良いのか分からない方が多いようにも見受けられます。今回の防災研修では、石巻にまた訪れたいと思った参加者がほとんどでした。今後もツアーを通して石巻をはじめ沿岸部地域を知ってもらい、石巻に関心を持ってくださる人を増やしていきたいと思えます。

8月のスタディツアー報告

8月19日(日)

立命館、立命館アジア太平洋大学、京都造形芸術大学対象ツアー
「大学生がこれからの未来や社会を考えるためのツアー」

- 参加者 33名
- 主な訪問先

日和山公園、門脇町、商店街周辺、いしのみ☆キッチンなど



8月22日(水)・30日(水)

青山学院大学主催ツアー

「これからの石巻との関わりを考え“縁”をつくってゆくツアー」

- 参加者各 17名
- 主な訪問先

日和山公園、門脇町、商店街周辺、木の屋石巻水産など



石巻がまた、花咲きますように

Saki-pon



saki-ponは被災した反物の裏地を使ったストラップです。

東北の“裂き織”を使って反物を甦えさせたい!

多くの呉服店が軒を連ねる宮城県石巻市では、東日本大震災の大津波で沢山の反物が海水に浸かり商品としての価値を失いました。そんな「反物を使って復興を応援したい!」と、生まれた商品が saki-pon です。saki-ponには『石巻に再び花を咲か(saki) そう』と『ポンポン(pon)で応援しよう』という思いが込められています。

反物から saki-pon へ

京呉服さかぶんのご主人から被災した布地を見せていただき、淡い色合いの裏地を使用することに。被災した反物の再起の願いを込めて、使えなくなった布を一度裂いて編み直す『裂き織』という東北古来の技法を用いることにしました。裂き織は本来織物ですが、作り易さとメッセージ性を重視しポンポンの形のストラップにしました。反物の優しい色の中に、所々被災によるシミが見え隠れする復興応援グッズ“saki-pon”。現在は、石巻のお母さん方に作成していただき、制作と販売の両面で広がりを見せはじめています。saki-ponは今後も地元の皆さんとプロジェクトを進めていきます。



- 主な取扱店舗 カネイリミュージアムショップ6(せんだいメディアテーク)
カネイリミュージアムネットショップ
(<http://www.kaneiri.co.jp/shop/>)
- 公式 Twitter:saki_pon_11
- 公式 Facebook:<https://www.facebook.com/saki.pon.project>



京呉服さかぶんにて

津波を被った反物

START メンバー紹介

山形のメンバーとことぶき町商店街のメンバーの皆さんをご紹介します。今後ともよろしくお願いたします。



はじめまして、共同学生代表の中川遼太と申します。このSTART通信をきっかけにさらに縁が広がってほしいなと思っています。ちなみに石巻に通うようになっておいしいものを色々見つけていくことが楽しみになりました。これからもどうぞよろしくお願いいたします!

(左上から) 石川遥、伊藤大貴、井村翔、尾形睦、菊池遼、工藤吉貴、熊谷周三、鈴木宗人、高橋勇太、塚田友理、鳥越渚、中川遼太、名取友来、山崎安佳里、平尾清
(ことぶき町商店街) 近藤三雄、今村義雄、佐藤宏(敬称略)

■今後の予定■

石巻スタディツアーは現在中学生向け・企業向けのプログラムを企画中です。saki-ponは好評販売中です。また新商品も開発中です。プロジェクトを通して新しい出会いが生まれることを期待致しております。

■コンタクト■

公式 Facebook : <http://www.facebook.com/StartTohoku/>
twitter : <http://twitter.com/StartTohoku>
E-mail : thinknewtohoku@gmail.com

